

教員による教授法開発懇談会を実施！

授業方法や学生の教育に関する様々な問題点に対し、学科内で情報を共有化し、解決・改善策を探ることを目的として、3月13日（金）午前、**第27回教授法開発懇談会**が開催されました。

この会の開催は27回目になりますが、今回は「**1. 学生の理解度を上げるための工夫**」「**2. 学生の学習意欲を高めるための工夫**」「**3. 学生の勉強時間を増やすための工夫**」といった授業の根幹に関わるテーマを設定し、**村田 理尚 准教授**、**松田 泰明 特任講師**、**平井 智康 特任准教授**、**藤井 秀司 教授**の順で、ご自身の授業における取り組み、工夫、心構え、指針などをお話し頂きました。

前半の3名の先生からは、授業における具体的な取り組み事例や改良点を数多くご紹介頂き、授業アンケートの結果や到達度との関係性などについてもお話し頂きました。また、上の3つのテーマに加え、「**学生に興味を持たせるための工夫**」についてもお考えを頂きました。一方、藤井教授からは、授業に対するフィロソフィー（信条・指針）や、学生を授業に惹きつける工夫などをご紹介頂きました。

また、プログラムの最後には、**小林 正治 准教授**から「**iPadを活用した講義方法**」をご紹介頂きました。次代の講義デバイスとして、どのような授業に適しているか、どのようなメリットが得られるかなどを、具体例を挙げて操作を実演して頂きました。

新型コロナウイルスの感染予防の観点から、まばらな着席と換気による寒風が吹きすさぶ中、発表者の先生の「**授業にかける熱い思い**」と「**熱弁**」により、予定していた**終了時間を30分もオーバー**することとなりました。より良い授業・教育を目指して学科教員一同が日々研鑽していますので、学生諸君もそれぞれの目標に向かって学習に励んでほしいと願っています。2020年度の講義に乞うご期待！



距離をおいて着席する教員



熱弁をふるう教員